

2022年03月
SPRING
第3号

ENGAWA Project
iTOP, Kyushu Univ.

エンガワ

あなたとつながる、縁側系広報誌。



ENGAWA Project, from iTOP maebaru.engawa@gmail.com

<https://maebaruengawa.wixsite.com/engawa-gallery>

03

A-Hoの営業日記

普通の大学生たちが、居酒屋の運営に挑戦。



黒木 恵介
けーすけ



喜多 悠
はるはる

学生と話せる居酒屋

A-Ho

福岡県糸島市前原中央3丁目1-15 小金丸ビル1F
毎週火曜日 19:00-22:00 (L.O. 21:30)

※まん延防止等重点措置や緊急事態宣言等、政府自治体の要請により休業している場合がございます。

居酒屋A-Ho(えーほー)は、前原中央の居酒屋「いい時間。ハイホー」のオーナーさんのご協力のもと、毎週火曜日に居酒屋運営に取り組んでいます。A-Hoの運営は学生が行なっていますが、決して学生専用の居酒屋ではありません。2019年の営業挑戦開始から、ハイホーさんの常連の方をはじめとして、大人の方にも沢山ご来店いただいております。

「前原を学生街に」をスローガンに掲げる私たちは、A-Hoという場所が、学生と、前原の方や土地との出会いを仲介できる拠点となるように活動に取り組んでいます。皆さまもぜひ一度、火曜日の前原に繰り出してみたいはいかがでしょうか。

ENGAWA Projectのメンバー一同、A-Hoでお待ちしております！



今日はちょっと早いハロウィン。
「トリック・オア・トリート！」でお菓子をプレゼントしました。
仮装して来店されるお客さんもいて、なかにはチャイナ服に身を包んだ方も…
旧唐津街道とイリスロードをつなぐ道で一際存在感を放っている店舗がより一層面白い空間と化した1日でした。

2021年10月26日



キラキラした街ももちろんいいけれど、私たちのクリスマスも負けていません。
A-Ho版クリスマスマーケットということで、ホットワインや、ホットチョコレート、ソーセージなどを提供しました。皆さまの素敵な思い出の一部になれていたら、幸いに思います。

2021年12月28日



寒い冬にぴったりなおでん。
冷え切った体にも、お財布にも、とっても優しいおでんは大好評をいただきました。
そして今日も新しい出会いがありました。
A-Hoでは毎週、素敵な出会いが生まれます。そんな出会いのお手伝いができるような、あたたかい場所でありつづけたいものです。

2021年1月18日

column file03

至福のたまごたーっぷりサンド



富永 凜
りん

休日の朝ごはんにぴったり！なたまごサンド。
口を大きく開けて、ぱくっと一口かぶりつけば
優しいたまごの味が口いっぱい広がります。



●材料 (1人分)

- 食パン 2枚
- たまご 3個
- ◎マヨネーズ 大さじ1
- ◎粒マスタード 大さじ1
- ◎砂糖 小さじ2
- ◎塩・胡椒 適量

●作り方

1. たまごを沸騰させたお湯で8分ほど茹でて、氷水でしっかり冷やしてゆでたまごを作る。
2. ゆでたまごをボウルに入れて潰し、◎を加えてよく混ぜる。
3. 食パン (1枚) に2を広げてのせ、もう1枚の食パンをかぶせる。
4. 中のたまごが溢れないよう、全体をラップで包んで、半分に切る。
5. お好みでパセリをかけたら完成

●料理研究家のたまごりん

大学生のお料理事情を発信しています！
ぜひチェックしてみてください！



崇人松本の ありがとう話

【対談】発起人たかと × 超新人かなと



松本 崇人 たかと

松本崇人(まつもとたかと)。1997年、熊本県に生まれる。2020年に九州大学21世紀プログラムを卒業した後、糸島を中心として実業家として活動している。ENGAWA Projectの発起人であり、現在はコーディネーターとして学生メンバーの活動を支援している。座右の銘は「自分で選んだものを正解にする」。



矢野 叶翔 かなと

矢野叶翔(やのかなと)。2002年、熊本県に生まれる。九州大学法学部に在籍中。昨年11月末にENGAWA Projectに加入した。その言動は非常にエネルギッシュで12月には史上最速で月間MVPを受賞した。座右の銘は「守破離」。今のENGAWAから学び、考え、独自の道を拓いていくことに期待が高まる。

01. ENGAWAってどんな集団？ サークル活動のジブンゴト化

矢野…対談形式でやれたらいいなと思ってます。そう「ボクらの時代」みたいな！
松本…いいね。よろしく願います。

松本…ENGAWAに入ってから3ヶ月。過ごして思ったことがある？

矢野…他のサークルは分野に特化してるけど今まで取り組んできたことが人によってさまざまで面白いと思います。あれですね、前原のサラダボウル！

松本…その表現面白いね笑
けどやっていくことが定まっていなから一見難しいところもありそうだね。でもみんなそれぞれ頑張ってるよね。みんなやっぱり似たもの同士なのかな。

矢野…背景は違うけど、価値観は似てるってことなんですかね。

松本…ああ、うん。ENGAWAでは、一人一人がジブンゴト化して取り組んでる。本当に世の中のトップレベルだと思うんだよ。
矢野…たしかに。傍観者ってないかも。
松本…あと、みんなが主語を「自分」じゃなくてENGAWAに置いてるよね。

矢野…お互いの個性を尊敬した上で、皆の素質が補い合ってる。その意識の共有ができるからこそなんだろうね。

ENGAWA創立時に、こういう集団になるって予想してました？

松本…したいとは思ってたね。でも最初の頃は、何から取り組んでいいかわからないメンバーもたくさんいたと思うな。正直「誰かが変えてくれるかな？」みたいなゲスト的な態度の人も居たかも。そうじゃないんだよ、って言い続けた時代はあったなあ。

02. ターニングポイントはどこ？ 今のENGAWAの原動力

矢野…崇人さんの、ここでENGAWA大きく変わったなって思ったのいつですか？
松本…ん、そうだな。いまの2年生が入ったタイミングかな。ENGAWAを良くして自分の時間を良くしようっていう意識が強かったと思うね。

矢野…1年生から見たら、やっぱり今の2年生は才能がもともとあってキラキラしているように見えます。

松本…最初はみんなそう思うよね。今の2年生もそうだったろうね。でも基本的に、才能なんてものはみんなほとんど持ってないんじゃない？

矢野…なるほど。上級生たちも圧倒的なエネルギーをENGAWAに使ってること考えると、才能とかじゃなくても僕らもやれることいっぱいあるなって思います。



軽食喫茶お茶まろにて談笑する様子 (左・矢野 右・松本)

03. 崇人さんがまちづくりをする理由 目の前のだけか幸せにする

矢野…活動を極限まで抽象化した話かもしれませんが、最近よく「新しい発明をして社会に貢献して賞賛を受ける」と「目の前の人を幸せにすること」この2つについてよく考えるんですよ。貢献を求め過ぎて虚無が残るし、近場ばかり見るとふとデッカい事したくなるし。どっちを取りたいですか？
松本…俺もそれは一生の命題だと思って、実はずっと考えてやってきた。でも結局俺は目の前の人喜んでないとやってる実感が湧かないなって。

それに近くの人を幸せにすることと遠くの人を幸せにすることって実は同じじゃない？
矢野…その心は？

松本…俺が今やってるのは、全部ここじゃない誰かに繋がってると思うんだよ。

俺がなんでまちづくりをしてるかの話なんだけど。実は、俺が最終的によくしたいのは「家庭環境」なんだよね。でも家庭のことって他人が口出す事じゃないじゃん。だから家庭を取り巻く一歩外側の「まち」から変えたいんじゃないかって思って。それでまちづくりをしてるんだよ。

矢野…なるほど。

松本…俺が目前の人の環境をよくしたら、その人自身が作る環境が良くなっていくんじゃない。伝播させていくイメージかな。

矢野…いいなあ。幸せを得た人がその輪を広げていく、とか考えたことなかったです。

【編集後記】ふたりの話が尽きず、半分もここに載せることができませんでした。とっておきの続きはまた機会があればSNS等で紹介させていただきます。

あなたとつながる、縁側系広報誌。

縁側は古くから、外の空間と部屋との間にある曖昧な空間として日本家屋独自の意匠となっています。ご近所さんを出迎え話し込んだり、天気の良い日に日なたぼっこをしたりと、気軽な交流や憩いの場として親しまれています。

そのようななにかを大学生として作りたい。

それはありふれた建物としての縁側でも、型にはまったSNSでもなく、

手紙のような手渡しされる広報誌なのではないかと考えました。

これはみなさまに見守っていただきたい、私たちのちょっとした挑戦です。

the editors 得津 京佳 / 前田 佳凜 / 黒木 恵介
喜多 悠 / 富永 凜 / 矢野 叶翔 / 山根 春佳



ENGAWA Project
from iTOP, Kyushu Univ.

九州大学公認地域活性化団体iTOPで活動しているプロジェクトのひとつ。「筑前前原を学生団体に」を使命に、シェアハウスやイベントスペース、学生居酒屋の運営を行っている。



@ENGAWAproject.maebaru



@engawa_project



@AprojectEngaw